

防災ボランティアしんとう視察研修会



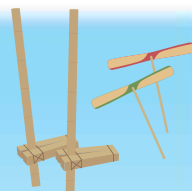
11月10日、避難行動要支援者及び要配慮者の地域見守り活動の一翼を担う防災ボランティア会員を対象に、今年度は「埼玉県防災学習センター」を訪問し、地震や風水害などの体験をとおして災害について知ること考えることを学び、今後の活動に役立てることを目的に実施しました。



センターでは、スクリーン映像で見慣れた風景の中でのリアルな地震体験や最大30s/mの風を体験できるコーナーなど説明を受けながら体験し、参加者は、災害発生時の自分の命を守るための行動について改めて見直す時間になったようです。



世代間交流事業



世代間交流事業は、長寿会と子供会(育成会)の交流を通じ日本古来の行事や遊びを伝承し、また、子ども達の情操教育と高齢者の生き甲斐に役立つことを目的とした事業です。

実施された地区は、第7区が竹馬・竹とんぼ作りを行い、その他にも流しそうめんや竹と輪ゴムで作成したイモ鉄砲大会を開催し、大いに盛り上がったようです。

第2区、第4区、第5区は、さつま芋栽培を苗の植え付けから収穫まで共同作業で行い、子ども達は収穫の楽しさを体験し、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に秋の味覚を楽しみました。

第6区、第21区では、十日夜祭りで餅つきとわらを束ねてモグラ叩き作りを行いました。子ども達は蒸かし上がった餅米が臼に入ると大興奮で餅つきを体験し、モグラ叩き作りもおじいちゃんに真剣に教えてもらう姿もありました。

